

令和4年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和4年9月21日

NO	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	谷戸	親子講座 谷戸セミナーⅤ セミの羽化 観察会	7月29日 金曜日 19時から21時	40人	セミについて学習した後、西東京いこいの森公園で羽化観察を行い、その後羽化について復習し、さらに理解を深めた。	大森拓郎（日本自然観察保護協会自然観察指導員）
2	ひばりが丘	親子で楽しむ講座 プラネタリウムシアター 親子 で聴きたい親子のはなし	7月23日 土曜日 ①10時から10時40分 ②11時20分から12時 2回	延べ60人	シアター形式のプラネタリウムとして、様々な星の映像と語り、ピアノやシンセサイザーの生演奏を親子で楽しんだ。	野田祥代（あいプラネット代表、理学博士） 渡辺好美（作編曲家、ピアニスト）
3	ひばりが丘	上映会 16ミリフィルムで見るドキュメン タリー映画「阿賀に生きる」	7月24日 日曜日 13時から16時	28人	新潟水俣病が発生した阿賀野川流域に暮らす人々の日常をこまやかに描いたドキュメンタリー映画「阿賀に生きる」の上映。アフタートークでは制作の背景や監督の目指したものについて講師の解説を聞き、それを受けて参加者の意見交換を行った。	畠山容平（映画監督）
4	保谷駅前	【共催事業】 多文化カフェ カディザさんが語るムスリムの 暮らし ※「西東京にほんご教室」との 共催	7月23日 7月30日 土曜日 10時から12時 全2回	延べ45人	地域で暮らすイスラム教徒であるカディザ・ベゴムさんを講師に迎え、イスラム文化やイスラム教徒の暮らしについて話を聞いた。ヒジャブを実際に頭に巻く体験や、お祈りを見学・体験し、ムスリムの暮らしを身近に感じる機会となった。また、日本人がイスラムに対して抱いているイメージと実際の違いを知る機会にもなった。ムスリムが日本で暮らすうえでどんなことに困るのかも学んだ。	カディザ・ベゴム（市内在住のロヒンギャ難民。イスラム教徒。日本に暮らすロヒンギャの子どもたちへのオンライン学習支援活動の現地コーディネーター）